虚血性心疾患に対する冠動脈バイパス手術のため、当院に入院された患者さんの心臓超音波検査記録を用いた研究に対するご協力のお願い

第1.0版　2026/8/19

研究責任者
所　　属：　外科(心臓血管)
氏　　名：　伊藤　隆仁

このたび当院では上記の患者さんを対象にした研究を、当院の臨床研究倫理審査委員会の承認ならびに院長の許可のもと倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。

患者さんのプライバシー保護については、以下を遵守します。

1）本研究で取り扱う患者さんの個人情報は、心臓超音波検査記録および身長、体重、性別、既往歴　　です。その他の個人情報（名前、住所、電話番号など）は一切取り扱いません。

2）本研究で取り扱う患者さんの心臓超音波検査記録は、個人情報をすべて削除し、第３者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。

3）患者さんの個人情報と匿名化した心臓超音波検査記録を結びつける情報(連結情報)は、本研究の研究責任者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。

4）なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

ご自身の検査情報（例：カルテ内の情報など）の提供について、本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を問い合わせ先に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

対象となる方

2023 年 4 月から 2026 年 3 月までに当院で冠動脈バイパス手術を実施し、その手術前と手術後 1 週間に経胸壁心臓超音波検査が実施され、記録の得られた方。

1. 試料・情報の利用目的及び利用方法

心臓の左(心)室の筋肉(心筋)が慢性的に虚血状態(栄養が十分に供給されない状態)に陥ると左室の肥大(筋肉の増大)が認められるようになりますが、この虚血が治療によって改善すると左室肥大が解消されることが報告されています。

今回、冠動脈バイパス手術を実施した患者さんの心臓超音波検査記録を用いて左室心筋重量を算出して左室全体の心筋の量を推定し、これが手術前後でどの程度変化したのかを検討します。これを手術 1 週間後と 1 年後のデータを用いて行い、改善がどの時期から始まっているのかを推定するとともに、どのような患者背景をもつ場合に、より改善が進むのかを明らかにします。(後方視的手法を用います)。

2. 研究で使用する試料・情報の項目

手術前および手術後 1 週間、1 年後に実施された、心臓超音波を用いて測定した拡張末期心室中隔壁厚、後壁厚、左室拡張末期径、左室駆出分画などの検査の記録と、検査当日の身長・体重、年齢、性別、既往歴（高血圧、脂質異常症、糖尿病、喫煙歴、血行再建歴、家族歴)。

3. 試料・情報の利用を開始する予定日

当院院長による実施許可日　～　2027 年 3 月 31 日まで

4. 試料・情報の提供を行う医療機関の名称及びその長の氏名

本試験で試料・情報を外部へ提供致しません。

5. 利用する試料・情報の取得の方法

本研究は通常の診療で既に得られた記録をまとめることによって行われるため、本研究のために新たな取得は行いません。

6. 本研究の責任者名及び所属医療機関名

東京都済生会中央病院　外科(心臓血管)　伊藤　隆仁

7. 試料・情報の利用する者の範囲

上記　外科(心臓血管)　伊藤　隆仁

8. 海外へ試料・情報を提供する場合

この研究では外国へ情報を提供しません。

9. 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

東京都済生会中央病院　検査科

10. 試料・情報の利用停止を希望する場合

あなたの情報を研究に使用することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用を停止することができます。連絡先は、問い合わせ先をご確認ください。

11. 問い合わせ先

東京都済生会中央病院
外科(心臓血管)　　伊藤　隆仁
TEL：03-3451-8211（代表）